

Saori Ikeuchi TIMES / no.024 / 2021.1.10 sun.

TOKYO 12 HAUS

池内さおり通信
日本共産党
衆院東京12区
池内さおり事務所
〒115-0042
東京都北区志茂
2-53-7

電話：03-5939-6581 ファックス：03-5939-6582 メール：tokyo12haus@saori-ikeuchi.com

「子どもの声を聞く社会を実現しよう！」ライブ&トーク開催

池内さおり事務所で12月5日、会場とオンラインを併用してのトークイベントが開催されました。

池内さんとともに党衆院比例東京ブロック予定候補である、ゲストの坂井和歌子さんは、都内の様々な子どもの現場からの声や実践を紹介。池内さんからはコロナ下で子どもたちが置かれた困難な状況などが語られました。子どもの権利を尊重する社会の実現に向けて、参加者をまじえて活発に語り合われ、政治を変えたい、両候補を国会へ押し上げたいという決意を固め合う場となりました。

オープニングにはシンガーソングライターの高橋ナナコさんによるミニライブが行われ、会を盛り上げました。



参加者と高橋さん（後列左）、池内・坂井両候補（前列中央）



池内さおり
Saori Ikeuchi
前衆議院議員

その一方、GoTo事業は狂気の沙汰で、お年寄りの医療費窓口負担を2倍にする、とさえ言い出しました。冷たく無責任！政治の仕事は「公助」です。暮らしと命を支える政治本来の姿勢を取り戻そう。自民・公明菅政権、そして補完勢力維新の会に議席を与える訳にはいきません。野党連合政権へ！市民の皆さんと共に進みます！

コロナ禍での新年。医療現場では防護服もカーテンも未だ圧倒的に不足し、医療生協病院では組合員さんたちが手製の物資供給で支えています。菅政権は、医療現場に「感謝する」などとお気持ちだけの表明で、減収補填も医療従事者の待遇改善も危険手当にも十分な予算をつけていません。

新年の幕開け。総選挙と都議選の年で「安倍・菅政権」の国会はモラル破壊と疑惑と嘘が蔓延し、白黒はつきりさせなければならぬ課題は山のように。政治に誠実さと正義を取り戻したい！私は12区から勝ち上がり比例での共産党躍進を果たすべく、真っ直ぐに頑張り抜く決意です。

暮らしに希望を！

Column vol.24

色あざやかな社会へ

毎月12日は

TOKYO 12 HAUS の日

池内さおりがお待ちしている「TOKYO 12 HAUS」の日。
実施再開のめどが立ち次第お知らせいたします。

池内さおり
トークタイム



新型コロナウイルスの状況を踏まえ、
当面の実施を見合わせます。ご了承ください。



総選挙で政権交代を！



住民と話すときとめ道信都議（左）と池内さん

池内さんは12月、12区内の各区をめぐり、街頭や集いで住民の声を聞くとともに「今こそ政治を変えよう」と訴えました。

板橋区新河岸団地のつどいでは、コロナ対策や75才以上の医療費2割負担問題、説明拒否など菅政権の危険性と能力欠如を批判。衆院選での政権交代、都議選での党と野党共闘の前進を訴えました。

足立区では、宣伝の告知チラシを見て若い世代の方々が宣伝ポイントに聞きに集まってくれたほか、マンションのベランダから声援がよせられたり、街頭演説後に「LGBT当事者です」という方から声がかかるなど、注目されました。

男女共同参画 担当課と懇談



多様な性推進課と懇談する（右奥から）池内さん、山崎区議

池内さんは12月10日、山崎たい子、せいの恵子両北区議とともに、北区男女共同参画拠点「スペースゆう」を訪問。男女共同参画事業を担当する、茅根薫多様性推進課長および課のスタッフと懇談しました。

茅根課長は、ここ数年区議会でジェンダー平等に関わる質問が多く取り上げられるようになり、課としてもその都度深く学び、取り組みを深めていると語り、講座の開催や情報誌の発行等の取り組みについて説明しました。

池内さんは、国会議員時代からの自身の取り組みや、先日発行した「ジェンダー平等」パンフレットの内容を紹介。互いにジェンダー平等を目指す立場から、女性が不利益や暴力を受けやすい社会構造や、現状の課題と求められる取り組みについて、率直な意見交換となりました。

中学校の性教育を見学

12月11日、池内さんは日本共産党足立区議団とともに、足立区立菜の花中学校を訪問。同校が人権教育として系統的に取り組んでいる、「性の学習」を見学しました。

この日行われたのは、1年生対象の「生命誕生」の授業。教員から「性の学習は、みんなが心地よく、健康に、幸せに生きるための大切な学習です」との説明がなされ、映像やクイズ等を用いながら、受精から誕生までが科学的にわかりやすく取り上げられました。「あなたたち一人ひとりがとても大事な存在です」と語りかける教員の言葉に、子どもたちが聞き入る様子もみられました。

池内さんは「こうした学びがすべての子どもに保障される教育環境をつくりたい」と思いをあらたにしました。



菜の花中学校の教員、生徒らと一緒に記念撮影（左から）池内さん、区議、横田区議、山崎区議、せいの恵子、山崎区議

コロナ、ジェンダー…講演各地で

池内さんは12月、都内各地のイベントに招かれました。

12日町田地区女性のつどい、13日文京区ジェンダー平等委員会主催のつどい、18日には日本共産党文化後援会例会で、それぞれジェンダー問題について講演。また19日中野区まんなか世代主催のオンラインイベント「今だから考えたい希望へのトビラ」、26日立川駅前での「市民と野党 de オープントーク」では、それぞれゲストとトークセッションを行いました。

参加者からは、「迫力があり、わかりやすく感動！若い世代にぜひ聞いて欲しい」（町田）、「と



26日、（左から）生活者ネット・山内れい子都議、池内さん、立憲民主党・大河原まさこ衆院議員、司会・黒沢いつきさん

ても感銘を受けた。比例で共産党を伸ばせばこういう方が当選するんだと話合った」（文化）などの感想がよせられました。